V. 参　考　資　料

1．沿　革

37　4　市内4保健所の試験室を統合し（一部臨床検査を除く），衛生試験所として発足。施設は，新築の中央保健所合同庁舎の2階一部，面積200m²。総数22名で，発足時の組織は下記のとおり

- 所長
  - 疫学課 15名
    - 庶務係5名（庶務，車両運行，動物飼育，器具洗浄）
    - 細菌検査係6名（腸内細菌，結核菌，寄生虫卵，細菌性食中毒の検査）
    - 臨床検査係3名（一般臨床，梅毒の検査）
  - 理化学課 6名
    - 環境検査係3名（井戸水，プール，浴そう水，浄化そう放流水の検査，器具洗浄）
    - 食品検査係2名（食品化学，細菌，食品添加物の検査）

〔6月：市煤煙防止条例制定〕

38．4　総数24名（増員2名：臨床検査1名，大気汚染検査1名）

39．4　水質汚濁検査を拡充（主要河川調査，洗剤汚染調査等）

〔8月：阿賀野川水銀中毒（第2水俣病）発生〕

40．4　総数25名（増員1名：水質汚濁検査）

41．4　総数26名（増員1名：水質汚濁検査）

41．7　施設増改修（2，3階の一部），面積550m²に増（2階　理化学，3階　事務室，疫学）

42．4　定数29名（増員3名：庶務1名，食品検査1名，水質検査1名）

〔8月：公害対策基本法制定〕

43．4　定数31名（増員2名：細菌検査）

〔6月：大気汚染防止法制定，5月：イタイイタイ病公害病認定，カネミ油症発生〕

44．4　定数34名（増員3名：庶務1名，食品検査1名，水質検査1名）。ウイルス検査を開始

〔牛乳のBHC汚染問題化，11月：チクロ使用禁止〕

45　4　定数36名（増員2名：臨床検査1名，食品検査1名）。農薬検査開始

〔12月：水質汚濁防止法制定〕

46　4　定数39名。公害検査係を新設し，環境検査係から大気，水質汚濁検査を移管（2課6係）

〔6月：悪臭防止法制定，7月：環境庁発足〕

47　4　公害検査課を新設。理化学課から公害検査係を分離，当課所属とする（3課6係）。また，庶務係を事務係に，細菌検査係を微生物検査係にそれぞれ名称変更。定員41名（増員2名：食品検査）。施設の大幅増改修開始（3，4階部分，47～48年度継続事業）。製品検査（かん水，色素製剤）開始

〔3月：市公害防止条例制定，4月：政令指定都市移行〕

47．7　PCBの残留検査開始

〔8月：食品中残留PCB暫定規制値制定〕

48．4　衛生研究所と改称。定数43名（増員2名：水質汚濁検査），食品検査係の細菌検査を微生物検査係に移管

48．10　施設改修完了，現在の規模となる。占有面積1,457m²

〔10月：家庭用品の規制に関する法律，化学物質の規制に関する法律制定〕

48. 11　環境汚染健康影響の正常値に関する研究（内毛髪中重金属検査）実施（環境庁委託）

49. 4　定数45名（増員2名：微生物1名，家庭用品1名）。環境検査係で家庭用品検査開始

49. 7　悪臭物質分析開始〔7月・悪臭防止法に基づく規制地域及び規制規準制定〕

50. 4　公害検査課を大気検査係と水質検査係に分割（3課7係)。定数47名（増員2名・大気検査1名，水質汚濁検査1名）

50. 7　全国環境測定分析統一精度管理調査に参加（初回）〔2月・PCB環境基準告示〕

51. 6　化学物質環境調査実施（環境庁委託）

52. 4　微生物・臨床検査室の改修（放射性免疫化学検査室の設置等75m²)。微生物検査係の1名を臨床検査係へ配置替えし，先天性代謝異常検査開始

〔7月・先天性代謝異常検査に関する厚生省通達〕

53. 4　微生物検査係の3名を臨床検査係へ配置替えし，先天性甲状腺機能低下症検査開始。製品検査民間移譲

53. 11　コレラ菌のサーベイランス開始（下水，その他）

54. 7　地域環境調査実施（環境庁委託）

〔7月・先天性甲状腺機能低下症に関する厚生省通達，12月：市コレラ防疫対策実施要領作成〕

55. 6　先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査開始

〔10月・過酸化水素の食品残留禁止〕

55. 12　昭和55年度地研全国研究「健康と飲料水中の無機成分に関する研究」に参加（初回）

56. 4　小児がん神経芽細胞腫検査開始。大気中ホルマリン検査実施（環境庁委託）

56. 6　感染症サーベイランス事業実施，河川水生生物調査開始

56. 10　河川底質調査実施（環境庁委託）

57. 5　先天性副腎皮質過形成検査開始

57. 10　厚生科学研究「食品添加物の1日総摂取量調査に関する研究」に参加（初回）

57. 10　非特定重大障害物質発生源等対策調査（スチレン）実施（環境庁委託）

57. 10　Sストアー清田店の飲料水汚染による我が国最大規模の集団食中毒（患者数7,751）発生

57. 12　電子顕微鏡室の新設（既設の原子吸光室等の移設と改修により新設）と電子顕微鏡の設置

58. 4　市内排水路等環境調査（病原菌等サーベイランス事業）を開始（疫学課微生物検査係と公害検査課水質検査係の合同）

58. 10　水質管理計画調査（地下水保全対策調査）実施（環境庁委託）

58. 10　非特定重大障害物質発生源等対策調査（キシレン）実施（環境庁委託）

58. 11　厚生科学研究「各都道府県における食品等に係る衛生化学検査の精度管理」に参加（初回）

59. 7　高周波プラズマ発光分光光度計（ICP）の設置

59. 11　ガスクロマトグラフ・マススペクトルの設置

59. 11　スパイクタイヤによるアスファルト粉じん調査開始（札幌市5カ年事業計画）

60. 7　環境庁委託による化学物質環境汚染実態調査に参加

60. 8　環境庁委託による未規制大気汚染物質発生源対策調査に参加

61. 4　新庁舎調査設計費（4千万円）予算計上される

61. 6　妊婦甲状腺機能検査開始

62. 1　酸性雨（雪）調査を本格的に開始

62. 4　アスベスト調査開始

62. 5　新庁舎建設着工

63. 6　北海道・東北ブロック酸性雨協同調査に参加

63. 9　新庁舎竣工

鉄筋コンクリート造　地下1階　地上4階建　延べ3,255m^2　建設費総額16億5千万円

元. 4　フロンガス調査開始

元. 8　輸入食品中の放射能検査開始

元. 8　環境庁委託による未規制大気汚染物質モニタリング調査実施

2. 3　札幌アジア冬季大会の女性検査実施

2. 4　札幌市感染症サーベイラス事業・病原体検査を開始

2. 7　遺伝子診断装置導入

2. 8　地球温暖化関連物質調査開始

2. 組織と事務分掌 (平成2年10月1日現在)

- 衛生研究所 (45)
  - 疫学課 (20)
    - 事務係 (6)
      - 庶務，経理，諸収入金の徴収，施設設備の維持管理
      - 検体収集，車両管理，動物飼育，その他所内他課の所管に属さないこと
    - 微生物検査係 (5)
      - 伝染病細菌，食品細菌，食中毒原因菌，一般細菌の検査及び研究
      - 寄生虫の検査及び研究
      - ウイルス学的検査及び研究
    - 臨床検査係 (8)
      - 血清学的検査及び研究
      - HB抗原・抗体検査及び研究
      - 先天性代謝異常検査及び研究
      - 先天性甲状腺機能低下症（クレチン症）検査及び研究
      - 先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査及び研究
      - 小児がん神経芽細胞腫検査及び研究
      - 先天性副腎皮質過形成検査及び研究
      - 妊婦甲状腺機能検査及び研究
  - 理化学課 (12)
    - 環境検査係 (4)
      - 飲料水，プール水，公衆浴場水の検査及び研究
      - 家庭用品中の有害物質の検査及び研究
      - 住環境衛生の検査及び研究
      - 地下水の水生生物，衛生害虫の検査及び研究
    - 食品検査係 (7)
      - 乳，乳製品，一般食品の検査及び研究
      - 食品中の添加物，重金属の検査及び研究
      - 食品中の残留農薬，PCB，抗菌剤の検査及び研究
      - 食品中の放射能検査及び研究
      - 容器包装，栄養分析の検査及び研究
  - 公害検査課 (12)
    - 大気検査係 (4)
      - 降下ばいじん，浮遊粉じん，浮遊粒子状物質，アスベストの検査及び研究
      - 酸性雨，酸性雪に関する検査及び研究
      - 悪臭物質，ガス状成分の検査及び研究
    - 水質検査係 (7)
      - 河川水，工場排水，鉱山排水等の検査及び研究
      - 河川底質の検査及び研究
      - 河川水の水生生物の調査及び研究

※ カッコ内の数値は職員定数

3. 職員配置

平成2年10月1日現在

課係別 ＼ 職種別		医師職	技術職 獣医学	技術職 薬学	技術職 理学	技術職 工学	技術職 農学	技術職 水産学	技術職 臨床検査技師	事務職	業務職	技能職	合計
所長		1											1
疫学課(22)	課長				1								1
	検査主幹						1						1
	事務係									4	1	2	7
	微生物検査係			1	2		1	1					5
	臨床検査係			4	1	1		1	1				8
理化学課(12)	課長		1										1
	環境検査係		1	1		1	1						4
	食品検査係			1	1	3	1	1					7
公害検査課(10)	課長		1										1
	大気検査係					3							3
	水質検査係				2	2	1	1					6
合計		1	3	7	7	10	5	4	1	4	1	2	45

4. 職員名簿

平成2年10月1日現在

所長	菊地由生子	理化学課長	大内格之
疫学課長	阿部克己	環境検査係長	小塚信一郎
疫学課検査主幹	横田秀幸	技術職員	赤石準一
事務係長	依田豊章	〃	早川祥美
事務職員	佐藤光男	〃	西尾香奈子
〃	伊藤三紀子	食品検査係長	佐藤稔
〃	成田譲二	技術職員	河合正暁
業務職員	新居剛	〃	山本優
技能職員	松下隆文	〃	土佐林誠一
〃	長谷部修	〃	惠花孝昭
微生物検査係長	大森茂	〃	阿部敦子
技術職員	吉田靖宏	〃	木原敏博
〃	川合常明	公害検査課長	前田博之
〃	小林毅	大気検査係長	大谷倫子
〃	小野准子	技術職員	立野英嗣
臨床検査係長	福士勝	〃	伊藤正範
医療技術専門員	遠田芳也	水質検査係長	柏原守
技術職員	荒井修	技術職員	藤山彰二
〃	水嶋好清	〃	浦嶋幸雄
〃	花井潤師	〃	浅野みね子
〃	山口昭弘	〃	西野茂幸
〃	扇谷陽子	〃	小田達也
〃	米森宏子		

転　出　者

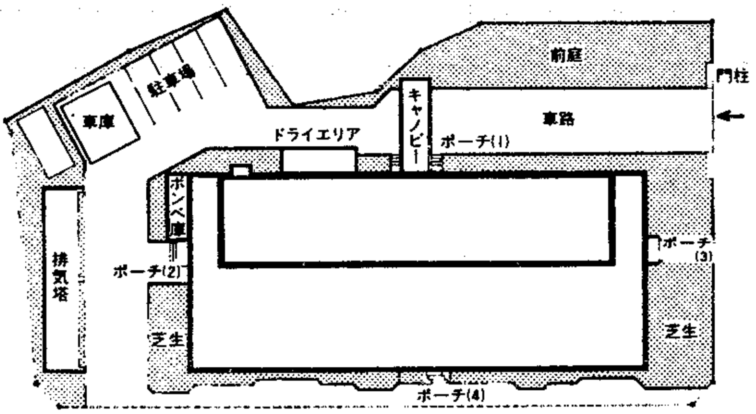
転出年月日	課係名	氏名	転出先
元年12月28日	疫学課長	冨澤　政	退職
2年4月23日	微生物検査係	鈴木欣哉	環境管理部水質騒音課
2年4月23日	水質検査係	東海林祐二	下）施設部創成川処理場
2年7月20日	大気検査係	山下智子	教育委員会稲積中学校
2年10月1日	事務係長	成田　勉	西区福祉事務所保護課

5. 施 設 概 要

建物の概要

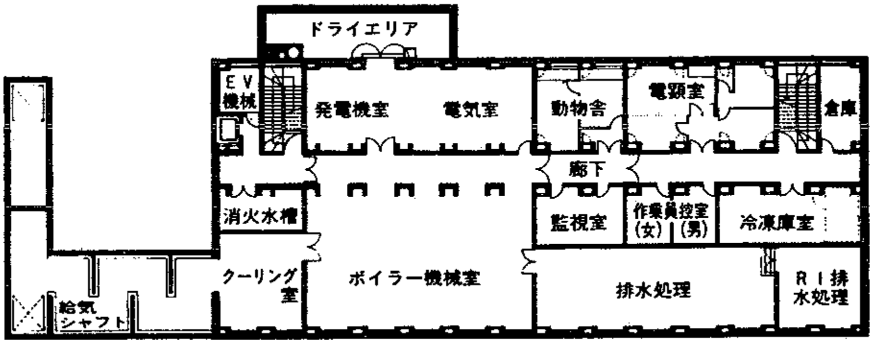
位　　置	札幌市白石区菊水9条1丁目
敷地面積	2,198m²
竣　　工	昭和63年9月30日
構　　造	鉄筋コンクリート造り
	地下1階　地上4階
延べ建築面積	3,255m²

配置図

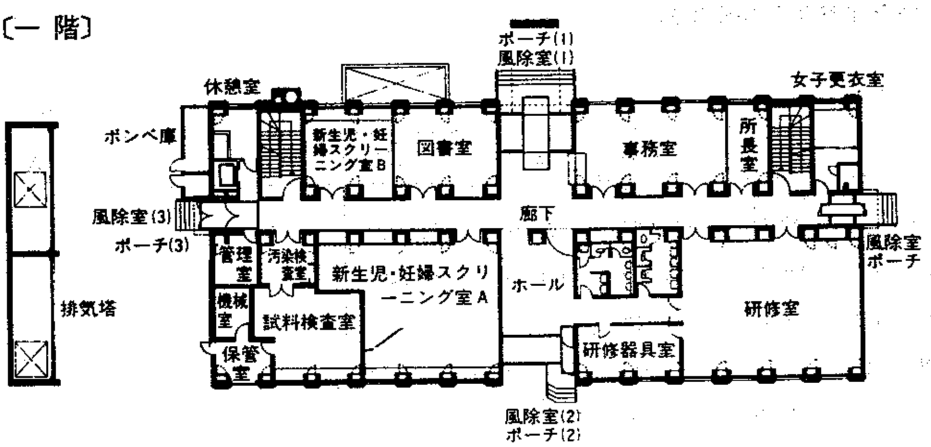


平面図

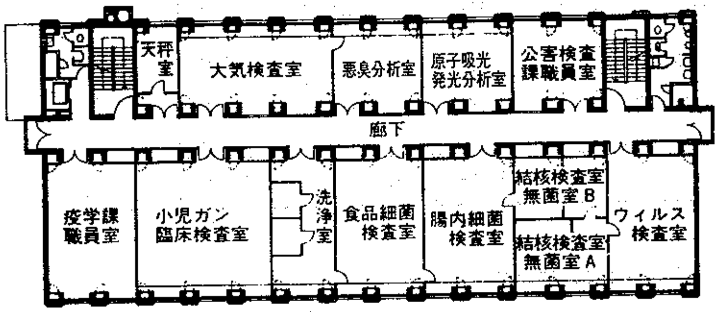
〔地 階〕



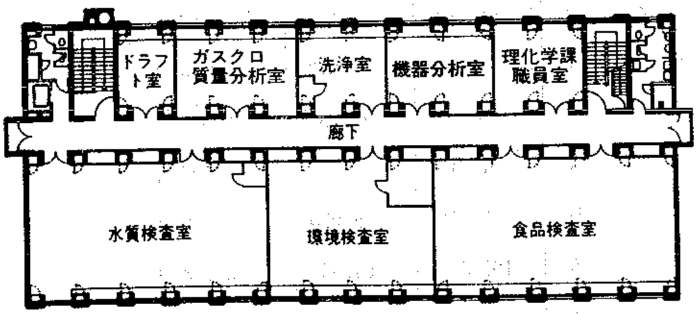
〔一 階〕


ポーチ(1)
風除室(1)
休憩室
女子更衣室
ボンベ庫
新生児・妊婦スクリーニング室B
図書室
事務室
所長室
風除室(3)
ポーチ(3)
廊下
風除室
ポーチ
管理室
汚染検査室
新生児・妊婦スクリーニング室A
ホール
排気塔
機械室
試料検査室
研修室
保管室
研修器具室
風除室(2)
ポーチ(2)

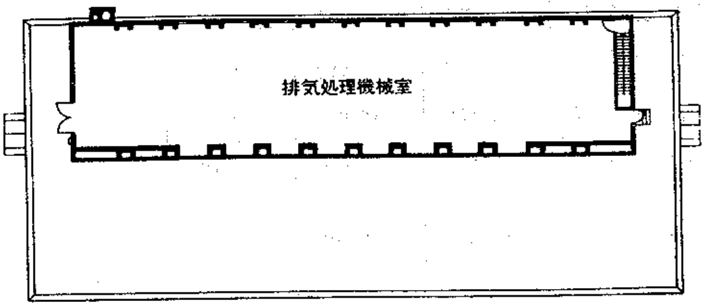
〔二 階〕


天秤室
大気検査室
悪臭分析室
原子吸光発光分析室
公害検査課職員室
廊下
疫学課職員室
小児ガン臨床検査室
洗浄室
食品細菌検査室
腸内細菌検査室
結核検査室無菌室B
結核検査室無菌室A
ウィルス検査室

〔三 階〕


ドラフト室
ガスクロ質量分析室
洗浄室
機器分析室
理化学課職員室
廊下
水質検査室
環境検査室
食品検査室

〔四 階〕


排気処理機械室

6．平成元年度歳入歳出決算

(1) 歳　入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位　千円)

科目	予算現額	調定額	収入済額	備考
使用料及び手数料	133,433	124,494	124,494	
衛生研究所使用料	133,420	124,493	124,493	
衛生研究所手数料	13	1	1	
国庫支出金	2,000	1,304	1,304	
衛生費補助金	0	0	0	
衛生費委託金	2,000	1,304	1,304	環境大気調査費 環境水質調査費
諸収入	595	578	578	
保険料	140	119	119	
その他雑入	455	459	459	
歳入合計	136,028	126,376	126,376	

(2) 歳　出（科目別経常費内訳）　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位　千円)

科目	議決予算額	支出済額	不用額	備考
職員手当	26,889	25,502	1,387	
共済費	3,407	2,547	860	
賃金	30,413	20,766	9,647	
報償費	1,719	1,534	185	
旅費	5,176	5,020	156	
需用費	107,301	104,388	2,913	
役務費	5,165	5,455	△ 290	
委託料	29,916	33,349	△ 3,433	
使用料及び賃借料	9,875	10,237	△ 362	
工事請負費	0	1,980	△ 1,980	
備品購入費	7,685	16,602	△ 8,917	
負担金補助金及び交付金	363	528	△ 165	
衛生研究所費合計	227,909	227,908	1	

(事業別経常費内訳)

(単位　千円)

事業名	予算現額	支出済額	同財源内訳		不用額
			特定	一般	
(1) 細菌検査	9,388	11,760	23,374	△ 11,614	△ 2,372
(2) ウイルス検査	11,308	6,895	1,201	5,694	4,413
(3) 先天性代謝異常検査	8,327	11,898	0	11,898	△ 3,571
(4) 先天性甲状腺機能低下症(クレチン症)検査	10,057	8,572	0	8,572	1,485
(5) 先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査	6,384	7,256	0	7,256	△ 872
(6) 臨床検査	6,652	2,988	2,380	608	3,664
(7) 小児がん神経芽細胞腫検査	9,288	9,442	0	9,442	△ 154
(8) 先天性副じん皮質過形成検査	8,064	11,236	0	11,236	△ 3,172
(9) 妊婦甲状腺機能調査	8,330	6,840	5,733	1,107	1,490
(疫学検査費計)	77,798	76,887	32,688	44,199	911
(1) 環境検査	10,311	11,940	15,921	△ 3,981	△ 1,629
(2) 食品検査	21,626	17,419	12,645	4,774	4,207
(3) 農薬検査	4,034	5,690	5,257	433	△ 1,656
(理化学検査費計)	35,971	35,049	33,823	1,226	922
(1) 水質汚濁検査	16,129	17,503	48,922	△ 31,419	△ 1,374
(2) 大気汚染検査	10,261	8,994	10,365	△ 1,371	1,267
(公害検査費計)	26,390	26,497	59,287	△ 32,790	△ 107
(調査研究費)	10,955	11,324	450	10,874	△ 369
(維持管理費)	76,795	78,151	0	78,151	△ 1,356
衛生研究所費合計	227,909	227,908	126,248	101,660	1

※　特定財源の内訳－使用料及び手数料，国庫支出金，諸収入

(3) 臨時事業費

(単位　千円)

科目	予算現額	支出済額	内訳
機器整備費	15,550	15,550	• 有機酸分析装置 • 先天性副腎皮質過形成自動分注装置 • 飲料水中発がん物質検出装置 • 食品添加物分析装置 • 有機塩素系化合物分析装置

平成2年度予算

(1) 歳　入　　　　(単位　千円)

科　目	議決予算額	前年度予算額	比較増減△	備　考
衛生研究所使用料	133,073	133,420	△ 347	
衛生研究所手数料	13	13	0	
衛生費委託金	2,000	2,000	0	
諸収入	605	595	10	
歳入合計	135,691	136,028	337	

(2) 歳　出（科目別経常費内訳）　　　　(単位　千円)

科　目	議決予算額	前年度予算額	比較増減△	備　考
職員手当	28,614	26,889	1,725	
共済費	2,837	3,407	△ 570	
賃金	25,323	30,413	△5,090	
報償費	1,719	1,719	0	
旅費	5,246	5,176	70	
需用費	106,392	107,301	△ 909	
役務費	5,937	5,165	772	
委託料	41,691	29,916	11,775	
使用料及び賃借料	8,669	9,875	△1,206	
工事請負費	−	−	−	
備品購入費	11,928	7,685	4,243	
負担金補助金及び交付金	513	363	150	
衛生研究所費合計	238,869	227,909	10,960	

（事業別経常費内訳）　（単位　千円）

事業名	議決予算額	同財源内訳		事業の概要
		特定	一般	
(1) 細菌検査	10,255	19,866	△ 9,611	伝染病細菌，食品細菌，食中毒原因及び一般細菌検査，寄生虫検査及び研究
(2) ウイルス検査	9,919	2,289	7,630	ウイルス学的検査及び研究
(3) 先天性代謝異常検査	8,402		8,402	先天性代謝異常検査及び研究
(4) 先天性甲状腺機能低下症（クレチン症）検査	10,228		10,228	先天性甲状腺機能低下症検査及び研究
(5) 先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査	7,364		7,364	先天性甲状腺ホルモン結合たん白欠損症検査及び研究
(6) 臨床検査	6,780	4,535	2,245	血清学的検査，病理学的検査，有害物質の人体影響の検査，HB抗原・抗体検査及び研究
(7) 小児がん神経芽細胞腫検査	10,194		10,194	神経芽細胞腫検査及び研究
(8) 先天性副じん皮質過形成検査	8,161		8,161	先天性副じん皮質過形成検査及び研究
(9) 妊婦甲状腺機能検査	8,438	8,000	438	妊婦甲状腺機能検査及び研究
（疫学検査費計）	79,741	34,690	45,051	
(1) 環境検査	10,825	15,733	△ 4,908	飲料水，プール水，浴場水，家庭用品の検査及び研究
(2) 食品検査	17,415	17,614	△ 199	食品中の添加物，重金属の検査及び研究，乳製品，容器包装，栄養分析の検査及び研究
(3) 農薬検査	2,949	3,430	△ 481	食品中の残留農薬，PCBの検査及び研究
（理化学検査費計）	31,189	36,777	△ 5,588	
(1) 水質汚濁検査	14,891	49,619	△ 34,728	河川水，工場排水，河川底質の検査及び研究
(2) 大気汚染検査	11,558	13,987	△ 2,429	降下じん，浮遊じん，有害ガス，じんあい中の重金属，悪臭の検査及び研究
（公害検査費計）	26,449	63,606	△ 37,157	
（調査研究費）	16,157	455	15,702	
（維持管理費）	85,333		85,333	所内の維持管理，経理，検体受付及び庶務
衛生研究所費合計	238,869	135,528	103,341	

※　特定財源の内訳－使用料及び手数料，国庫支出金，諸収入

(3)　臨時事業費

（単位　千円）

科目	議決予算額	前年度予算額	比較増減△	備考
機器整備費	24,148	15,550	8,598	備品購入

7. 主 要 備 品（500千円以上）

平成2年10月1日現在（単位　千円）

機器名	購入年月	金額	摘要
微分干渉顕微鏡	54 1	525	オリンパスBH透過型ノマルスキー式
冷却遠心機	54 9	2,590	200本架H－107RGS符号機
電子分析天秤	55 5	700	ザルトリウス2001型
ハイボリュームエアーサンプラー	55 7	546	柴田AH－600型
電子分析天秤	56 5	1,026	ザルトリウス社製2003型MPI
超高速冷却遠心器	56 5	1,685	久保田KP－600P
電子上皿卓上天秤	56 6	655	ザルトリウス社製1364M
バイオハザードクリーンベンチ	56 7	2,080	日立SCV－1300EC
低温恒温室	56 6	568	サンヨープレハブMCU－100型
超音波洗浄器	56 7	515	UO－600FAUT50A型
ガスクロマトグラフ	56 9	2,097	島津GC－7AGPV，FID，ECD
血液蛋白分画装置	56 9	2,990	島津CS－920
高速液体クロマトグラフ	57 1	1,976	日立638－50特型
高感度分光けい光光度計	57 1	1,120	日立650－10LC特型
パンチインデクサー	57 2	2,980	米国ファンダメンタルプロダック製7型
コンタミネーションモニター	57 5	620	ベルトールド社製LB1210B
微分干渉顕微鏡	57 6	1,359	オリンパスBHS323N型（透過型ノマルスキー式） 全自動写真撮影装置ほか
EIA用自動測定装置	57 6	4,100	富士臓器FP－1型
ポンプユニット	57 6	1,180	日立655型
UVモニター	57 6	700	日立638－0410型
グラジェント装置	57 6	500	日立635－0420型
全自動試料調製装置	57 6	8,500	LKBWALLAC社製1290型
真空凍結乾燥器	57 8	795	アトモバック5000B
直示自動天秤	57 8	510	メトラH80
ガスクロマトグラフ	57 8	3,390	日立リン系農薬分析器163型ほか
示差屈折検出器	57 9	1,175	昭和電工SHODEX SE－31リファレンスバルブ付

機器名	購入年月	金額	摘要
炭酸ガス恒温培養器	57. 12	2,850	フォーマ社モデル3326オートマチックCO_2コントローラー
透過式電子顕微鏡	57. 12	30,100	日立H－800型
走査式電子顕微鏡	57. 12	12,950	日立S－520型
超遠心機	57. 12	7,021	日立SCP70H型
超ミクロトーム	57. 12	4,445	ポーターMT 2 B型
真空蒸着装置	57. 12	868	日立HUS－5GB型
臨界点乾燥装置	57. 12	616	日立HCP－2型
細菌同定装置	58. 11	1,090	日水ID80P－Cコンピューター，プリンターほか
不揮発性有機化合物分析装置	58. 12	6,000	ウオーターズ，ALC/GPC208Dコンパクトシステムほか
デジタルイオンメーター	58. 12	1,200	オリオン901型
血中ホルモン測定装置	58. 12	1,800	日立655－15カラムヒーターほか
業務用冷蔵庫	59. 1	584	日立RL－683FR
業務用冷蔵庫	59. 1	611	日立RL－618SL2
食品添加物分析装置	59. 2	2,400	島津UV－260型自記分光光度計ほか
電気ふらん器	59. 2	1,140	カヤガキKF－160－D
悪臭分析装置	59. 3	4,850	日立663－30ガスクロマトグラフ（FID・FPD検出器）ほか
オートスポッター	59. 3	1,700	西独デサカ社記録計付
重金属分析装置	59. 3	7,600	日立偏光ゼーマン原子吸光光度計Z－8000ほか
純水製造装置	59. 3	1,530	ミリポアR015オーガネックスタイプ
高周波プラズマ発光分光分析装置	59. 7	15,410	日本ジャーレル・アッシュICAP－575 MARK II ほか
電子天秤	59. 7	700	メトラーAE－163－011型（秤量記録装置付）
紫外検出器	59. 8	560	日立638－41型波長可変UVモニター
イオンクロマトグラフ	59. 10	8,000	ダイオネックス社2010検出器UV/VISほか（3バルブ型カラムヒーター付）
揮発性物質質量分析計	59. 11	22,000	島津GCMS－QP1000（EI/CI）ターボーポンプほか
組織回転培養装置	59. 12	570	テーハー式HDR－6－Y型
電気炉	60. 3	545	田中科学SOFTEMP－3F
栄養成分分析装置	60. 3	3,340	テイケーター社ケルテックオート1030型ほか
水銀濃度計	60. 7	1,000	日本インスツルメンツマーキュリーRA－1

機器名	購入年月	金額	摘要
原子吸光光度計	60. 8	7,980	横河北辰電機VIDEO－11　フレームレスアトマイザーMODEL・オートサンプラーMODEL
高速液体クロマトグラフ	60 8	1,180	日立655－12型（ダンパー付）ほか
電気化学検出器	60. 8	2,382	ESA 5100 A型
オートサンプラー	60 8	1,665	協和精密KMT－60 A型（恒温冷水循環機CH－4付）
高速液体クロマトグラフ処理装置	60. 8	1,240	システムインスツルメントSIC 7000 B型（インターフェイス内臓，タイムコントロールリレー付）
データー自動記憶解析装置	60. 8	535	NECPC 9801 F Ⅱ（プリンターUP/30 K，ディスプレーPC 885付）
超音波洗浄装置	60. 10	1,000	神明台工業製UA 6060型
全自動マイクロウエルプレート比色計	60. 11	1,950	日本インターメッド社製イムノリーダーNJ－2000
恒温水槽	60. 12	1,194	XY－Ⅲ DCL
試験管自動洗浄機	61. 3	2,760	シャープMU－623 A
妊婦甲状腺機能検査自動処理装置	61 5	12,000	NEC 100/48 VSシステム
マイクロプレート洗浄装置	61. 5	800	イムノウッシャーNJ－300(日本インターメッド製)
シンチレーションカウンター	61. 8	13,000	ガンマーマスター1277（LKB WALLAC社製）PC－9801 IVF 2，PC－KD 851，PC－PR 201付
低温灰化装置	61. 9	4,000	ヤナコプラズマアッシュアーLTA 154
パンチインデクサー	61. 9	900	MODEL 80001　96穴マイクロプレート用
パンチインデクサー	61. 9	1,300	MODEL 80002　100本立　LKB
パンチインデクサー	61. 9	1,300	MODEL 80003　100本立　LKB
恒温水槽	61 10	560	レシプロ振盪式M 300 D
塩素系化学物質分析装置	62. 1	3,500	ガスクロマトグラフ（島津GC－15 APF）データー処理装置，データー自動記憶解析装置
高速冷却遠心機	62 2	1,700	クボタKR 20000 T
安全キャビネット	62. 3	2,150	SCW 1303 EC Ⅱ
飲料水適否判定用分光光度計	62 3	2,000	日立U 3200型
陰イオン物質定量装置	62. 3	860	イオンアナライザーイオンEA 940（プリンターCBM 150 L）
PKU代謝物検出装置	62. 7	560	日立L 4000型UV検出器
CAH関連ホルモン分析装置	62. 8	4,720	蛍光分光マイクロプレートリーダーほか
万能顕微鏡	62. 8	5,639	落射蛍光位相差装置，ノマルスキー微分干渉装置付
食品検査用ビタミン分析装置	62. 9	5,780	蛍光分光光度計（日立F 4000）ほか
神経芽細胞腫原因物質測定装置	62. 11	8,679	高圧グラジェントポンプシステム（日立L 6200，L 6000型）ほか

機器名	購入年月	金額	摘要
河川水重金属測定装置	63. 3	2,500	自記分光光度計UV－2100
ヒ素分析装置	63. 3	1,190	日立HFS－2型
恒温恒湿器	63. 3	1,000	タバイエスペックLHU－112M
実体顕微鏡	63. 3	1,500	オリンパスSZH－131
ドラフトチャンバー	63. 9	10,284	DS－8T型，DP－8T型，DS－8K型，RK－8型
超低温槽	63. 9	1,536	サンヨーMDF－381
安全キャビネット	63. 9	1,480	日立SCV－1303EC2B
プレハブ恒温室	63. 9	4,140	サンヨーMCU－1000（3.24m²，3.06m²，9.00m²）
超低温フリーザー	63. 9	1,104	サンヨーMDF－440
業務用冷蔵庫	63. 10	1,369	日立RL－685FR，サンヨーSRR－S1881
超純水製造装置	63. 10	1,550	ミリポアRO8，QSP
耐火性γ線用冷蔵貯蔵庫	63. 10	1,840	千代田保安用品㈱TH－J1331
高速冷却遠心機	63. 10	2,625	日立工機㈱CR20B2
ハンドフットクロズモニタ	63. 10	2,000	アロカ㈱MBR－51
ガスクロマトグラフ	63. 11	3,500	日立263－500型，ECD検出器，ガスサンプラーほか
有機塩素系農薬分析機	63. 12	4,007	ガスクロマトグラフ（GC－15APF），ECD検出器ほか
パンチインデクサー	元. 1	4,060	米国ファンダメンタルプロダクツ社MODEL ⅧM/E JR
自動尿濃度測定装置	元. 1	3,880	（マイクロプレートリーダー）モレキュラーデバイス社，（ウルトラウォッシャー）ダイナテック社
恒温振盪培養機	元. 3	660	大洋科学工業㈱BR－30L
超低温フリーザー	元. 3	1,638	サンヨーMDF－381AT
アミノ酸分析計	元. 3	4,350	ポンプ（日立L－6000，6200），蛍光検出器（日立F－1050）ほか
オートサンプラー	元. 3	1,530	協和精密㈱KSP－600
冷凍冷蔵庫	元. 3	575	サンヨーSRR－S781CAZ
顕微鏡カラーテレビ装置	元. 3	936	オリンパスITC－250，14インチモニター付
高速液体クロマトグラフ	元. 3	3,670	ポンプ（日立L－6200），UV検出器（日立L－4000），ほか
フォトダイオードアレイ	元. 3	1,880	UV－VIS検出器
PCワークステーション	元. 3	636	横河電気工業㈱LC－100W型
硫黄分析計	元. 3	3,995	堀場製作所SLFA－920型

機器名	購入年月	金額	摘要
自動雨水採水装置	元　3	990	㈱博屋商行製
食品添加物分析装置	元．5	4,258	ポンプ（日立L－6000，6200），分光蛍光検出器（日立F－1150）ほか
電顕用ダイヤモンドナイフ	元　6	518	ディアトーム社刃幅2.1mm
有機酸分析装置	元　7	2,699	ガスクロマトグラフ（日立G－3000，FID検出器付），サイレントエアコンプレッサーほか
飲料水中発ガン物質検出装置	元．9	3,493	ガスクロマトグラフ（島津GC－15APE），クロマトパック（C－R4AD）ほか
有機塩素系化合物分析装置	元　11	2,966	ガスクロマトグラフ（日立263－70，ECD検出器付），クロマトパック（島津C－R6A）
先天性副腎皮質過形成自動分注装置	元　12	1,978	自動分注装置（日立AS－4000）ほか
高速液体クロマトグラフ用オートサンプラー	元　12	834	日立AS－2000
位相差顕微鏡	2　2	1,146	オリンパス社BHS－PC－A（6穴レボルバー付）
遠心分離器	2　3	775	クボタMODEL 8100
分光光度計	2　3	2,740	マイクロプレートリーダーEmax，ウルトラウォッシャー
有機リン系化合物分析装置	2　3	2,490	ガスクロマトグラフ（横河電気5890シリーズⅡ，FID・FPD検出器付）
高速冷却遠心機	2　6	2,503	クボタMODEL 7820
純水製造装置	2　6	1,494	バーンステッド社NANOpure, ULTROpure 60
ポストカラム用ポンプ	2　7	599	日立L－6000
残留農薬分析装置	2　7	4,017	ガスクロマトグラフ（島津GC－15APF，ECD，FPD検出器付）データ処理装置ほか
先天性代謝異常症遺伝子診断装置	2　7	11,049	分光光度計（日立U－3210），小型超遠心機（日立CS－100）ほか
イオンクロマトグラフ	2　7	4,499	ダイオネックス2000i（陰イオン標準カラム付）

8．過去5年間の調査研究等の報文一覧（昭和59～63年度）

(1) 疫学関係（その1　微生物検査関係）

59年度
- 札幌市におけるサルモネラ・サーベランスについて（昭和54年～59年）（白石(圭)他），年報第12号。
- 1984年～1985年の札幌市におけるインフルエンザの流行について（吉田他），年報第12号。
- 札幌市におけるインフルエンザB型の流行（熊谷他），病原微生物検出情報54,3,1984。

60年度
- 1985年～1986年の札幌市におけるインフルエンザの流行について（吉田他），年報第13号。
- Yersinia属菌の検出状況について（師尾他），年報第13号。
- 海水魚用いけすの水及びウナギ輸送水からの食中毒起因菌検出状況（小林他），年報第13号。

61年度
- 札幌市内で分離されたヒト由来サルモネラの伝達性Rプラスミドについて（鈴木(欣)他），年報第14号。
- 1986年～1987年の札幌市におけるインフルエンザの流行について（吉田他），年報第14号。
- Yersinia Pseudotuberculosisによるサル感染例と分離菌の性状（師尾他），年報第14号。

62年度
- 札幌市内で分離されたサルモネラにおけるヒト由来株と環境由来株の関連性について（鈴木他），年報第15号。
- 腸内細菌（サルモネラ菌）の電子顕微鏡用試料作製と観察（横田他），年報第15号。
- 1987年～1988年の札幌市におけるインフルエンザの流行について（吉田他），年報第15号。
- 複数の型の黄色ブドウ球菌による集団食中毒（小林他），年報第15号。

63年度
- クジラ肉を原因食品とするサルモネラの食中毒事例（大森他），年報第16号
- 1988年～1989年の札幌市におけるインフルエンザの流行について（吉田他），年報第16号
- 札幌市におけるVibrio mimicusによる食中毒事例（小林他），年報第16号
- 環境中から分離されるサルモネラについて－食中毒関連株の検索－（鈴木他），年報第16号
- 札幌市における病原大腸菌の検出状況について（小野他），年報第16号
- クジラ肉を原因食品とするサルモネラの食中毒事例（情報）（大森他），病原微生物検出情報9(8)，146－147,1988
- インフルエンザウイルスAソ連型の分離について－札幌市（速報）（吉田他），病原微生物検出情報9(12)，242,1988

(2) 疫学関係（その2　臨床検査関係）

59年度　◦プレート固相EIA法による乾燥濾紙血液中の17－OHPおよびCortiolの測定（水嶋他），年報第12号。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニング ── 高速液体クロマトグラフィーによるVMA，HVAの直接測定法 ──（花井他），年報第12号。

◦ビオチニデース欠損症の新生児スクリーニング法の検討（山口(昭)），年報第12号。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニング結果（昭和59年度）（花井他），年報第12号。

◦クレチン症マス・スクリーニングにおける精度管理の検討（荒井他），ホルモンと臨床第32巻第9号。

◦札幌市における神経芽細胞腫マス・スクリーニングについて（佐藤(泰)他），北海道の公衆衛生1984第10号。

◦マス・スクリーニングで発見された先天性甲状腺機能低下症（クレチン症）の治療・追跡並びに周辺疾患に関する全国調査成績（昭和59年2月）（高杉他），日本小児科学会誌第12号（厚生省心身障害研究・クレチン症に関する研究班)。

◦新生児甲状腺機能亢進症
── その原因，病態におよぼすTSH受容体　抗体抗甲状腺剤の影響についての検討 ──（福士他），日本小児科学会雑誌89(3)，1985。

60年度　◦神経芽細胞腫における血清中NSEと尿中VMA，HVA ── 腫瘍マーカとしての有用性 ──（花井他），年報第13号。

◦マイクロフルオロメトリーによるガラクトース血症スクリーニング法の検討（山口他），年報第13号。

◦マイクロコンピュータによるマス・スクリーニング管理システムについて（荒井他），年報第13号。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニング結果（昭和60年度）（花井他），年報第13号。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニングにおける尿中VMA，HVA測定値とその判定（佐藤(泰)他），日本小児学会雑誌89(12)，2665－2671，1985。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニング ── 尿中のVMA，HVA値による判定について ──（高杉他），日本医事新報，No.3216，28－32，1985。

◦札幌市における神経芽細胞腫マス・スクリーニングと発見頻度について（高杉他），小児科診療48(5)，105－108，1985。

◦新生児尿におけるカテコールアミン最終代謝産物の経日的変動（高杉他），日本新生児学会雑誌22(2)，417－420，1986。

◦6～11カ月児における尿中VMA，HVA，Catecholamineの正常値と神経芽細胞腫スクリーニングへの応用（高杉他），小児外科17(9)，1137－1142，1985。

◦尿中VMA・HVAと神経芽細胞腫重量との関係 ── スクリーニング発見例を対象として ──（高杉他），小児外科17(11)，1393－1396，1985。

◦札幌市における神経芽細胞腫マス・スクリーニングによる発見症例の検討 ── 発見から確定診

断までを中心として ── (高杉他)，小児科診療48 (11)，24－28，1985。

∘各種腫瘍マーカーによる診断技術の進歩VMA，HVA（高杉他)，小児外科18（1)，79－85，1986。

∘血沈と血清Lactate dehydrogenase値の神経芽細胞腫スクリーニング発見例および同月齢正常児における比較検討（高杉他)，小児科診療49（2)，300－303，1986。

∘神経芽細胞腫スクリーニング発見例に対する画像診断法 ── 数量化による評価の試み ── (高杉他)，小児科診療49（3)，423－426，1986。

∘Neuron Specific Enolase の Radioimmunoassay の基礎的検討と神経芽細胞腫スクリーニングの応用（福士他)，医学と薬学15（2)，563－567，1986。

∘Neonatal Screening for Congenital Adrenal Hyperplasia in Japan (Takasugi他)，Congenisal Adrenal Hyperplasia P 103－110 (Annuals of the New York Academy of Sciences)

∘Neonatal Hypothyroid Screening by Enzymeimmunoassay for TSH (Fukushi他)，Iodine Deficiency Disorders and Congenital Hypothyroidism, 1986, P 166－175 (1985, 9/1サンパウロ第7回国際甲状腺会議Proceeding)

61年度 ∘濾紙血液中の乳酸測定による高乳酸血症のスクリーニング法について (水嶋他)，年報第14号。

∘神経芽細胞腫マス・スクリーニング ── 尿ろ紙のクレアチニンの分解によるVMA，HVA異常高値について ── (川合他)，年報第14号。

∘微量ケイ光定量法によるフェニルケトン尿症およびヒスチジン血症のマス・スクリーニング法の検討（山口他)，年報第14号。

∘神経芽細胞腫マス・スクリーニング ── “直接法”によるVMA，HVA測定をとり入れて ── (花井他)，年報第14号。

∘神経芽細胞腫の検出方法 ── スクリーニングから精検まで ── (高杉他)，産婦人科の世界38（4)，345－349，1986。

∘Determination of Urinary Vanillylmandelic Acid and Homovanillic Acid by High Performance Liquid Chromatograpfy for Mass Screening of Neuroblastoma（佐藤(泰)他)，Tohoku J. exp. Med. 1986, 150, 169－174

∘ラジオイムノアッセイによる神経特異エノラーゼ測定の基礎的検討と神経芽細胞腫スクリーニングへの応用（福士他)，臨床検査30（7)，773－777，1986。

∘乾燥濾紙血液の遊離サイロキシンおよび遊離トリヨードサイロキシンの測定法と新生児甲状腺機能スクリーニングへの応用（福士他)，日本小児科学会雑誌91（1)，5－11，1987。

∘先天性副腎皮質過形成（21－水酸化酵素欠損症）のマス・スクリーニングに関する研究　第1報 ── 乾燥濾紙血液17α－hydroxyprogesteroneの酵素免疫測定法の基礎的検討と新生児マス・スクリーニングへの応用 ── (福士他)，日本内分泌学会雑誌62（6)，683－696，1986。

∘先天性副腎皮質過形成（21－水酸化酵素欠損症）のマス・スクリーニングに関する研究　第2報 ── 高速液体クロマトグラフィーによる血中および羊水中ステロイドの一斉分析 ── (水嶋他)，日本内分泌学会雑誌63（2)，102－112，1987。

∘先天性副腎皮質過形成（21－水酸化酵素欠損症）のマス・スクリーニングに関する研究　第

3 報 ― マイクロプレートを用いる乾燥濾紙血液17α－ hydroxyprogesterone の酵素免疫測定法の開発 ― (福士他)，日本内分泌学会雑誌 63 (2)，113－122, 1987。

- 先天性副腎皮質過形成（21－水酸化酵素欠損症）のマス・スクリーニングに関する研究　第 4 報　マイクロプレートを用いる乾燥濾紙血液 Cortisol の酵素免疫測定法の開発と新生児マス・スクリーニングへの応用（福士他），日本内分泌学会雑誌 63 (3)，205－214, 1987。
- Vanillylmandelic Acid, Homovanillic Acid and Catechloamines in Urine of Infants with Neuroblastoma　6－to　11－Month－Old（Takasugi 他），Jpn. J, Clin. Cnnol. 1986, 16 (4)，351－355
- 神経芽細胞腫マス・スクリーニング精検例の 24 時間尿中 VMA・HVA 値による真陽性者・偽陽性者判別の意義（高杉他），小児科診療 49 (9)，1614－1618, 1986。
- CT 画像より推定した神経芽細胞腫の成長速度とその臨床応用（高杉他），小児科診療 49 (5)，883－886, 1986。
- 尿中 VMA・HVA 値の季節的変動　神経芽細胞腫マス・スクリーニングの立場から（高杉他），小児科診療 49 (7)，1244－1248, 1986。
- 濾紙血 cortisol 測定と先天性副腎皮質過形成マス・スクリーニングへの応用（高杉他），医学のあゆみ 138 (13)，989－990, 1986。
- バセドウ病母親の TSH 受容体抗体と児の予後（高杉他），医学のあゆみ 140 (2)，109－110, 1987。
- 17－OH　Progesterone　RIA　Kit（栄研）基礎的臨床的検討（高杉他），医学と薬学 17 (3)，697－702, 1987。
- 甲状腺疾患合併妊婦の管理法（高杉他），産婦人科治療 54 (2)，184－191, 1987。
- NEONATAL HYPOTHYROID SCREENING BY ENZYMEIMMUNOASSAY FOR TSH (Takasugi 他)，Iodine Deficiency Disorders and Congenital Hypothyroidism, 166－174, 1986.
- COMPARISON OF PRIMARY TSH AND T_4 SCREENING FOR CONGENITAL HYPOTHYROIDISM (Takasugi 他)，Iodine Deficiency Disorders and Congenital Hypothyroidism, 253－299, 1986.

62年度

- 微量ケイ光定量によるメイプルシロップ尿症およびホモシスチン尿症のマス・スクリーニング法の検討（山口他），年報第 15 号。
- 神経芽細胞腫マス・スクリーニング ― 小児における尿中 VMA・HVA 値の正常値について ―（川合他），年報第 15 号。
- 神経芽細胞腫マス・スクリーニング結果（昭和 62 年度）（花井他），年報第 15 号。
- 神経芽細胞腫の疫学（高杉他），癌の臨床 33 (5)，501－506, 1987。
- 乾燥濾紙血液を用いる妊娠婦人の甲状腺機能に関する基礎的検討（水嶋他），ホルモンと臨床 35 (5)，589－594, 1987。
- 神経芽腫のマススクリーニング ― 一次スクリーニングの現状と問題点 ―（高杉他），小児科診療 50 (8)，1520－1525, 1987。
- 「エンザプレート 17α－OHP」キットの臨床的検討（高杉他），ホルモンと臨床 35 (10)，

1049－1054, 1987。

◦「エンザプレート17α－OHPマス・スクリーニング」による乾燥濾紙血液17α－Hydroxy-progesterone測定法の基礎的検討（福士他），ホルモンと臨床35 (10), 1143－1149, 1987。

◦17－OHP（福士），検査と技術15 (12), 1316－1317, 1987。

◦先天性副腎皮質過形成の新生児マススクリーニング（髙杉他），日本医事新報　第3327号，24－28, 1987。

◦A Simple Method for Quantification of Biotinidase Activity in Dried Blood Spot and its Application to Screening of Biotinidase Deficiency (Yamagichi他) Tohoku J. exp Med., 1987, 152, 339－346

◦Effects of Mass Screening of Neuroblastoma in Sapporo City (Takasugi他), CANCER, 60 (3), 433－436, 1987

◦A Simple Liquid－Chromatographic Measurement of Vanillylmandelic Acid and Homovanillic Acid in Urine on Filter Paper for Mass Screening of Neuroblastoma in Infants (Hanai他) CLIN CHEM., 33/11, 2043－2046, 1987

◦TSH－Receptor Antibodies in Mothers with Graves' Disease and Outcome in their Offspring (Takasugi他), LANCET, I (8575) 14－17, 1988.

◦Transient Hypothyroidism in the Newborn Infant－a Nationwide Study (Takasugi他), Advances in Neonatal Screening 49－52, 1987.

◦Enzyme－Linked Immunosorbent Assays for 17－Hydroxyprogesterone and Cortisol in Dried Blood Samples on Filter Paper and its Application to Neonatal Screening for Congenital Adrenal Hyperplasia (Fukushi他), Advances in Neonatal Screenig 143－144, 1987.

◦Collaborate Study on Regional Neonatal Screening for Congenital Adrenal Hyperplasia in Japan (Takasugi他), Advances in Neonatal Screening 279－280, 1987

◦Five Years Experience of Newborn Screening Program for Congenital Adrenal Hyperplasia in Sapporo (Takasugi他), Advances in Neonatal Screening 281－286, 1987.

◦A Method for Quantitative Analysis of Adrenal Steroids with High Performance Liquid Chromatography for Diagnosis of Congenital Adrenal Hyperplasia (Fukushi他), Advances in Neonatal Screening 303－304, 1987

63年度 ◦濾紙血液を用いる抗HTLV－I抗体の測定とその妊婦スクリーニングへの応用（福士他），年報16号，47－50。

◦TSH, Free T_4同時測定による先天性甲状腺機能低下症マス・スクリーニング（水嶋他），年報16号，51－58。

◦高速液体クロマトグラフィーによる乾燥ろ紙血APRT, HPRT活性の測定（山口他），年報16号，59－64年。

◦神経症状を呈する小児の代謝異常症ハイリスク・スクリーニングについて（山口他），年報16号，65－69。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニングにおける再採尿検体について（川合他），年報16号，167

－169。

◦神経芽細胞腫マス・スクリーニング結果（1988年度）（花井他），年報16号，170－172（昭和63年度）。

◦微量ケイ光定量法による先天性代謝異常症マス・スクリーニングについて（山口他），年報16号，173－177。

◦21－水酸化酵素欠損症のマス・スクリーニングの実際（福士他），ホルモンと臨床，第36巻，第10号，1035－1040,1988。

◦マススクリーニングによる神経芽細胞腫の治療成績向上（内藤他），日本小児外科学会雑誌，第21巻，第3号，1116－1120,1988。

◦Mothers' Attitudes towards Children's Therr－Year Health Examination（Nishi他），Acta Paediatr Jpn，30,680－685,1988。

◦Effects of the mass screenings for neuoblastoma in Japan A study of 68 cases（Nishi他），Eur J. Pediatr，147,308－311,1988。

◦21－Hydroxy Deficiency Neonatal Mass－screening（Igarashi他），157－167，elsevier science. pubulisher，1988。

◦妊娠前期一過性高FT_4血症（髭他），市立札幌病院医誌，第48巻，第1号，63－67,1988。

◦Neuron－Specific Enolaseを産出するヒト骨ユーイング肉腫ヌードマウス継代株の樹立とその性状（野島他），医学のあゆみ，第145巻，第7号，511－512,1988。

(3) 理化学関係

59年度 ◦水中アンモニアのオルトフタルアルデヒドによるけい光定量について（第2報）（佐藤(稔)他），年報第12号。

◦札幌市における一般住居の室内環境について（第4報）－冬期間における部屋別比較－（大谷他）年報第12号。

◦札幌市における一般住居の室内環境について（第5報）── 居室内におけるダニ相 ──（川村他），年報第12号。

◦札幌市における学童及びその両親の食生活実態調査（第1報）－夏季調査の集計結果－（小塚他），年報第12号。

◦加工食品からの糖類1日摂取量について（小塚他），日本公衆衛生雑誌32(2)，85－89，1985。

◦高速液体クロマトグラフィーによる鶏肉及び鶏卵中のアンプロリウムの定量（山口(敏)他），食品衛生学雑誌25(6)，499－504，1984。

◦マーケットバスケット方式による日本人のメチルセルロース，CMC；縮合硫酸塩およびエルソルビン酸塩の1日摂取量の推定（白石(由)他），日本栄養・食糧学会誌38(1)，33－38，1985。

◦高速液体クロマトグラフィーによる缶詰，瓶詰食品中のエチレンジアミン四酢酸とそのカルシウム(Ⅱ)及び鉄(Ⅲ)キレートの分別定量法について（山口(昭)他），食品衛生学雑誌26(3)，253－259，1985。

60年度 ◦札幌市における一般住居の室内環境について（第6報）── ダニ・カビ類の季節的消長について ──（大谷他），年報第13号。

◦食物繊維（セルロース）の有害金属に対する吸着効果について（山本他），年報第13号。

◦札幌市における学童及びその両親の栄養素摂取量等の季節変動について（阿部他），年報第13号。

◦マーケットバスケット方式による日本人の6種有機酸，3種アミノ酸，4種核酸，オルトリン酸などの1日摂取量について（白石(由)他），日本栄養・食糧学会誌38(2)，101－107，1985。

61年度 ◦札幌市における一般住居の室内環境について（第7報）（赤石(準)他），年報第14号。

◦室内環境データへの主因子分析の適用（小塚他），年報第14号。

◦マーケットバスケット方式による日本人の8種ビタミン，9種アミノ酸，3種ミネラルの1日摂取量の推定（白石(由)他），日本栄養・食糧学会誌39(4)，273－279，1985。

◦マーケットバスケット方式による日本人の乳酸，グルコン酸，グリセリン，マンニット，アンモニア，銅クロロフィリンナトリウム，水溶性アナトー，2種糊料，4種乳化剤の1日摂取量の推定（白石(由)他），日本栄養・食糧学会誌39(4)，281－287，1986。

◦GC／MS－SIM法による酒精飲料中のカルバミン酸エチル定量法（山本他），年報第14号。

62年度 ◦ビル飲料水における防錆剤の使用実態について（赤石(準)他），年報第15号。

◦イオンペアークロマトグラフィーによるジャガイモ中のソラニンの定量（赤石(尚)他），年報第15号。

◦昭和62年度「食品添加物の1日総摂取量調査に関する研究」の結果について（食品検査係），年報第15号。

- 札幌市における学童とその両親の食物消費パターン（小塚他），日本公衆衛生雑誌34（4），183－193，1987。
- マーケットバスケット方式による生鮮食品群からのビタミン，ミネラル，遊離アミノ酸の1日摂取量の推定（白石(由)他），日本栄養・食糧学会誌40（6），451－456，1987。
- マーケットバスケット方式による日本人のα，β，γおよびδトコフェロール1人1日摂取量の推定（白石(由)他），日本栄養・食糧学会誌40（6），457－462，1987。

63年度
- フォトダイオードアレイ・UV検出器付HPLCによる畜産物の合成抗菌剤の多成分分析法（山本他），年報第16号。
- 高速液体クロマトグラフィーによる食品中のプロピオン酸及びソルビン酸の同時定量（米森他），年報第16号。
- 昭和63年度「食品添加物摂取量調査研究」の結果について（大内），年報第16号。
- キャピラリーカラム/GCによる有機燐系農薬の多成分分析法（山本他），年報第16号。
- ぶどう中のシアン定量について（恵花他），年報第16号。
- 粗繊維定量法におけるシリカーアルミナ系濾過助剤の検討（木原他），年報第16号。
- 二次微分スペクトルの等吸収点による水中硝酸性窒素の迅速定量（小塚他），年報第16号。
- イオンクロマトグラフィーによる飲料水中の縮合リン酸塩の定量（早川他），年報第16号。

(4) 公害関係

59年度 ∘札幌市におけるスパイクタイヤに係る道路粉じんの調査結果（坪井他），年報第12号。

∘マイクロコンピュータによる水質検査データ入出力プログラムについて（中島他），年報第12号。

∘誘導結合プラズマ発光分析法による内標準補正法を用いた重金属の分析について（小林他），年報第12号。

60年度 ∘札幌市における多環芳香族炭化水素の動向（鈴木(寿)他），年報第13号。

∘メンブランフィルター法による河川水中ふん便性大腸菌群の検出について（赤石他），全国公害研会誌10(2)，19－22，1985。

61年度 ∘札幌市における浮遊粉じん中の水溶性成分の動向（鈴木(寿)他），年報第14号。

∘札幌市における酸性雨及び酸性雪調査（伊藤他），年報第14号。

∘札幌市における大気環境中のアスベスト濃度について（第1報）（塩田，横田他），年報第14号。

62年度 ∘札幌市における大気環境中のアスベスト濃度について（第2報）（立野他），年報第15号。

∘札幌市における地域特性別の大気中のホルムアルデヒド濃度（大気検査係），年報第15号。

∘市内河川水質における硝化の影響（東海林他），年報第15号。

∘循環水路による河川水浄化実験（浦嶋他），年報第15号。

∘直鎖アルキルベンゼンスルフォン酸（LAS）の分析における底質試料の保存・調製に関する比較検討（井出他），年報第15号。

∘水質，底質中の2－メトキシフェノール，3－メトキシフェノール，4－メトキシフェノールの分析法について（水質検査係），年報第15号

∘水質，底質中のアクリロニトリル，メタアクリロニトリルの分析法について（水質検査係），年報第15号。

63年度 ∘札幌市における大気環境中のアスベスト濃度について（第3報）－地域特性別－（塩田他），年報第16号。

∘札幌市における降下ばいじん量について－月別及び季節別特性－（立野他），年報第16号。

∘市内河川水質における硝化の影響－夏期と冬期における成績の比較検討－（東海林他），年報第16号。

9．札幌市衛生研究所条例，同施行規則

札幌市衛生研究所条例

（昭和37年3月31日
条 例 第 12 号）

改正 昭和46年12月条例第45号　　昭和48年3月条例第10号
昭和63年6月条例第39号
題名・改正（昭和48年3月条例第10号）

（設　　置）

第1条 本市は，保健衛生に関する試験，検査，調査及び研究（以下「試験等」という。）を行い，公衆衛生の向上を図るため，衛生研究所（以下「研究所」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 研究所の名称及び位置は，次のとおりとする。

名　　称	位　　　　置
札幌市衛生研究所	札幌市白石区菊水9条1丁目

（業　　務）

第3条 研究所は，第1条の目的を達成するため，次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 保健衛生に関する試験及び検査

(2) 保健衛生に関する試験方法及び検査方法の調査及び研究

(3) 保健衛生に関する試験検査機関等に対する研修及び指導

(4) 保健衛生に関する試験及び検査に係る情報の解析及び提供

(5) その他設置目的達成のために必要な業務

（使用料及び手数料）

第4条 研究所において行う業務又はその設備の使用については，この条例の定めるところにより使用料又は手数料（以下「使用料等」という。）を徴収する。

2 前項の使用料及び手数料の額は，健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（昭和33年厚生省告示第177号。以下「算定方法」という。）により算定した額の8割に相当する額の範囲内で市長が定める。ただし，算定方法の定めのないものについては，算定方法に準じて市長が定める。

3 使用料等は，市長が特別の事由があると認めたときは，これを減免することができる。

（使用料等の納付時期等）

第5条 使用料等は，設備の使用，試験等の依頼又は証明書の交付の際納めなければならない。ただし，市長が特別の事由があると認めたときは，この限りでない。

2 既に納めた使用料等又は試験等のため提出した物件は，これを還付しない。ただし，市長が特別に必要があると認めたときは，その全部又は一部を還付することができる。

（賠　　償）

第6条 設備の使用者又は入所者が建物，設備及びその他の物件をきそんし，若しくは滅失したときは，市

長の定めるところにより，これを原状に復し，又はその損害を賠償しなければならない。

（委　　任）

第7条　この条例の施行について必要な事項は，市長が定める。

附　　則

1　この条例は，昭和37年4月1日から施行する。

2　条例第2条の規定にかかわらず，当分の間試験所の位置は，市長が別に定める。

附　　則（昭和46年条例第45号）

1　この条例は，昭和47年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。〔以下ただし書省略〕

2　この条例の規定による位置又は区域の町名を改める改正規定にかかわらず，その改正規定中施行日における町名と異なる町名で表示されている，その異なる町名は，施行日から地方自治法（昭和22年法律第67号）第260条第2項の規定による知事の告示又は土地区画整理法（昭和29年法律第119号）第103条第4項の規定による換地処分の公告の日（以下「変更日」という。）までは，変更日前の町名で表示されたものとみなす。

3～6　省略

附　　則（昭和48年条例第10号）抄

1　この条例は，昭和48年4月1日から施行する。

附　　則（昭和63年条例第39号）

この条例の施行期日は，市長が定める。

札幌市衛生研究所条例施行規則

（昭和37年3月31日
規　則　第　16　号）

改正	昭和46年7月規則第44号	昭和47年3月規則第17号	昭和48年3月規則第20号
	昭和50年7月規則第42号	昭和52年3月規則第21号	昭和55年3月規則第10号
	昭和55年12月規則第73号	昭和56年2月規則第3号	昭和56年9月規則第36号
	昭和58年3月規則第14号	昭和59年3月規則第16号	昭和60年3月規則第5号
	昭和61年5月規則第31号	昭和63年3月規則第17号	昭和63年6月規則第46号
	平成元年8月規則第52号	題名　改正（昭和48年3月規則第20号）	

（目　　的）

第1条　この規則は，札幌市衛生研究所条例（昭和37年条例第12号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めることを目的とする。

（使用及び依頼の手続）

第2条　衛生研究所（以下「研究所」という。）の設備を使用し，又は保健衛生に関する試験，検査，調査若しくは研究（以下「試験等」という。）を依頼しようとする者は，次の各号に掲げる申込書を市長に提出しなければならない。

(1)　研究所の設備の使用については，設備使用申込書（様式1）

(2)　試験等の依頼については，試験等申込書（様式2）

（使用料及び手数料）

第3条　条例第4条第2項の規定による使用料及び手数料の額は，別表に定めるもののほか，健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（昭和33年厚生省告示第117号）別表第1診療報酬点数表（甲）により算定した額の8割相当額とする。

（使用料等の納付時期）

第4条　前条の使用料又は手数料（以下「使用料等」という。）は，次の各号の一に該当するときは，これを事後に納付させることができる。

(1)　試験等の結果が判明しなければ，料金を算出し難いとき。

(2)　その他市長が特別の事由があると認めたとき。

（減免の手続）

第5条　条例第4条第3項の規定により，使用料等の減免を受けようとする者は，減免申請書（様式3）を市長に提出しなければならない。

（成績書等の交付）

第6条　衛生研究所長は，試験等の結果が判明したときは成績書，検査書等を交付する。

2　成績書等の様式は，別に定める。

附　　則

1　この規則は，昭和37年4月1日から施行する。

2　札幌市保健所使用料及び手数料条例施行規則（昭和33年規則第31号）の一部改正〔省略〕

附　　則（昭和46年規則第44号）～附　　則（昭和61年規則第31号）省略

附　　則（昭和63年規則第17号）

1　この規則は，昭和63年4月1日から施行する。

2　この規則の施行前に申込みを受けた業務に係る使用料及び手数料については，なお従前の例による。

附　　則（昭和63年規則第46号）

1　この規則は，札幌市衛生研究所条例の一部を改正する条例（昭和63年条例第39号）の施行の日から施行する。

2　この規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に，この規則による改正前の札幌市衛生研究所条例施行規則の規定に基づき提出された申込書又は申請書は，施行日以後においては，この規則による改正後の札幌市衛生研究所条例施行規則の規定に基づき提出された申込書又は申請書とみなす。

別表

種別				単位	料金	摘要
疫学試験検査	食品細菌検査	一般生菌数		1項目	2,600円	
		大腸菌群		1項目	2,600円	
		各種細菌検査		1項目	3,900円	
	ウイルス検査	中和試験	組織	1項目	10,000円	
		分離培養検査	動物	1検体	10,200円	
			組織	1検体	13,000円	
	臨床検査	妊婦甲状腺機能検査		1検体	1,000円	
理化学試験検査	水質検査	飲料水	化学検査 普通法	1検体	3,600円	
			化学検査 精密法	1検体	59,000円	
			細菌検査	1検体	1,800円	
		プール水	化学検査	1検体	3,000円	
			細菌検査	1検体	1,800円	
		浴場水	化学検査	1検体	1,800円	
			細菌検査	1検体	1,200円	
		簡易物理検査		1項目	1,200円	
		化学検査	簡易なもの	1項目	1,800円	
			やや複雑なもの	1項目	3,600円	
			複雑なもの	1項目	6,000円	
			低沸点有機ハロゲン化合物	1検体	24,000円	4項目まで。5項目からは1項目増すごとに4,800円を加算する。
		生物同定検査		1検体	1,200円	
	家庭用品検査	容器又は被包	漏水試験	1項目	1,200円	
			落下試験	1項目	1,200円	
			耐酸性試験	1項目	1,200円	
			耐アルカリ性試験	1項目	1,200円	
			圧縮変形試験	1項目	1,200円	
		塩化水素又は硫酸		1項目	1,500円	

種別				単位	料金	摘要
理化学試験検査	家庭用品検査	水酸化ナトリウム又は水酸化カリウム		1項目	1,500円	
		ホルムアルデヒド		1項目	6,000円	
		塩化ビニル		1項目	7,000円	
		有機水銀化合物		1項目	9,600円	
		メタノール		1項目	9,600円	
		トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレン		1検体	24,000円	
		ディルドリン		1項目	25,000円	
		DTTB		1項目	30,000円	
		ビス(2•3-ジブロムプロピル)ホスフェイト化合物		1項目	30,000円	
		TDBPP		1項目	27,400円	
		APO		1項目	27,400円	
	食品検査	牛乳	化学検査	1検体	6,000円	アルコール定性試験を行う場合は，1,000円を加算する。
		乳製品	無脂乳固形分	1項目	5,900円	
			乳脂肪分	1項目	5,000円	
		清涼飲料水	化学検査	1検体	32,000円	
		器具及び容器包装	蒸発残留物	1項目	2,000円	
			過マンガン酸カリウム消費量	1項目	2,000円	
			重金属硫化物試験	1項目	2,000円	
			モノマー(揮発性物質)	1項目	15,000円	
			ホルムアルデヒド	1項目	6,000円	
			フェノール	1項目	1,000円	
			クレゾールリン酸エステル	1項目	10,000円	
			ジブチルスズ化合物	1項目	5,300円	
			重金属定量試験	1項目	8,000円	
		合成甘味料定量試験		1項目	9,600円	
		合成着色料定性試験		1項目	6,000円	1色につき

種別				単位	料金	摘要
理化学試験検査	食品検査	天然着色料定性試験		1項目	8,400円	1色につき
		プロピレングリコール定量試験		1項目	9,600円	
		合成保存料定量試験		1項目	7,200円	
		発色剤定量試験		1項目	6,000円	
		発酵調整剤定量試験		1項目	8,000円	
		漂白剤定量試験		1項目	6,000円	
		臭素酸カリウム定量試験		1項目	8,000円	
		縮合リン酸定量試験		1項目	8,000円	
		酸化防止剤定量試験		1項目	8,000円	
		金属定量試験		1項目	9,600円	
		シアン定量試験		1項目	7,200円	
		油定量試験	酸化	1項目	4,800円	
			過酸化物価	1項目	4,800円	
			カルボニール価	1項目	4,800円	
			チオバルビツール酸価	1項目	4,800円	
		糖試験	全糖簡易定量	1項目	1,200円	
			糖類分別定量	1項目	9,600円	
		缶，ビン圧試験		1検体	1,000円	
		添加物規格試験		1検体	15,400円	ただし，金属定量試験のあるものは除く。
		異物試験	浮上法又は沈降法	1検体	8,000円	
			直接検鏡	1検体	2,400円	
		蛍光染料簡易定性試験		1検体	2,400円	
		水素イオン濃度測定試験		1検体	1,200円	
		陰イオン界面活性剤定量試験（容器）		1項目	6,000円	
		アルコール定量試験		1項目	8,000円	
		揮発性塩基窒素定量試験		1項目	6,000円	

種別				単位	料金	摘要
理化学試験検査	食品検査	ヒスタミン定量試験		1項目	12,000円	
		栄養分析	灰分	1項目	6,000円	
			水分	1項目	2,400円	
			粗たん白	1項目	6,000円	
			粗脂肪	1項目	6,000円	
			粗繊維	1項目	6,000円	
			でん粉	1項目	6,600円	
			ビタミンB_1	1項目	10,000円	
			ビタミンB_2	1項目	10,000円	
			ビタミンC	1項目	10,000円	
			ビタミンA	1項目	15,000円	
			ビタミンE	1検体	18,000円	2項目まで。3項目からは1項目増すごとに9,000円を加算する。
		水分活性試験		1項目	5,000円	
		合成抗菌剤定量試験		1項目	18,000円	
		放射能核種検査		1検体	15,000円	ガンマー線核種定量試験に限る。
	農薬検査	残留農薬定量試験	多成分	1検体	36,000円	3項目まで。4項目からは1項目増すごとに7,200円を加算する。
			単成分	1項目	18,000円	
		PCB定量試験	食品	1検体	48,000円	
			包装紙	1検体	18,000円	
		フタル酸エステル	容器包装中	1検体	18,000円	
		有機水銀定量試験		1項目	18,000円	
		残留塩素定量試験		1項目	18,000円	
		重金属定量試験		1項目	9,600円	

種別				単位	料金	摘要
公害試験検査	水質汚濁検査	簡易物理検査		1項目	700円	
公害試験検査	水質汚濁検査	一般化学定量試験	簡易なもの	1項目	2,000円	
公害試験検査	水質汚濁検査	一般化学定量試験	やや複雑なもの	1項目	3,900円	
公害試験検査	水質汚濁検査	一般化学定量試験	複雑なもの	1項目	5,800円	
公害試験検査	水質汚濁検査	金属定量試験		1項目	5,400円	
公害試験検査	水質汚濁検査	有機水銀定量試験		1検体	20,000円	
公害試験検査	水質汚濁検査	有機水銀確認試験		1検体	26,000円	
公害試験検査	水質汚濁検査	有機リン定量試験		1検体	20,000円	3項目まで。4項目からは1項目増すごとに4,000円を加算する。
公害試験検査	水質汚濁検査	有機塩素定量試験		1検体	32,300円	3項目まで。4項目からは1項目増すごとに5,400円を加算する。
公害試験検査	水質汚濁検査	低沸点有機ハロゲン化合物定量試験		1検体	24,000円	4項目まで。5項目からは1項目増すごとに4,800円を加算する。
公害試験検査	水質汚濁検査	生物化学的酸素要求量測定試験		1検体	6,700円	
公害試験検査	水質汚濁検査	細菌検査	菌数	1項目	2,600円	
公害試験検査	水質汚濁検査	細菌検査	最確数	1項目	4,200円	
公害試験検査	水質汚濁検査	細菌検査	MFC法	1項目	3,100円	
公害試験検査	水質汚濁検査	有害化学物質定量試験	抽出法のやや複雑なもの	1項目	35,900円	
公害試験検査	水質汚濁検査	有害化学物質定量試験	抽出法の複雑なもの	1項目	41,300円	
公害試験検査	水質汚濁検査	土壌・底質試験	簡易なもの	1項目	3,600円	
公害試験検査	水質汚濁検査	土壌・底質試験	やや複雑なもの	1項目	7,000円	
公害試験検査	水質汚濁検査	土壌・底質試験	複雑なもの	1項目	8,300円	
公害試験検査	水質汚濁検査	土壌・底質試験	特殊なもの	1項目	18,400円	
公害試験検査	水質汚濁検査	土壌・底質試験	有害化学物質定量試験	1項目	40,600円	
公害試験検査	大気汚染検査	降下ばいじん測定試験	不溶解性成分	1検体	7,200円	
公害試験検査	大気汚染検査	降下ばいじん測定試験	溶解性成分	1検体	13,200円	
公害試験検査	大気汚染検査	硫黄酸化物定量試験		1検体	3,600円	
公害試験検査	大気汚染検査	簡易物理検査		1項目	1,200円	

種別					単位	料金	摘要
公害試験検査	大気汚染検査	一般化学定量試験		簡易なもの	1項目	2,000円	
				複雑なもの	1項目	4,500円	
		浮遊粉じん試験	濃度測定	一般ろ紙法	1項目	2,400円	
				特殊ろ紙法	1項目	5,900円	
			金属定量試験		1項目	7,200円	
			特殊成分	簡易なもの	1項目	5,000円	
				複雑なもの	1項目	17,900円	
		ガス状成分分析		簡易なもの	1項目	5,000円	
				複雑なもの	1項目	12,000円	
		重油中硫黄分測定			1検体	3,700円	
		悪臭分析試験	アンモニア定量試験	環境測定	1項目	15,000円	
				発生源測定	1項目	12,000円	
			特殊悪臭ガス定量試験	環境測定	1項目	20,000円	
				発生源測定	1項目	20,000円	
		金属定量試験（雨・雪）			1項目	5,400円	
		アスベスト定量試験			1項目	9,600円	
その他	設備等使用料				1回	実費相当額	
	自動記録計用液調製手数料			吸収液	10ℓ	1,800円	
				等価液	1標準物質	4,800円	
	証明手数料			一般	1件	300円	
				複雑なもの	1件	400円	

備考

1 保健対策上特に必要があるときは，この表の料金によらないことができる。

2 この表に記載していない使用料等は，他の類似する種目に対応する使用料等に準じて徴収する。

様式１（Ｂ５判）

札幌市衛生研究所設備使用申込書

年　　月　　日

（あて先）　札幌市長

住　所

職　業

氏　名　　　　　　　　　印

札幌市衛生研究所を下記のとおり使用したいので，許可願います。

記

1　設　　備　　名

2　試　験　事　項

3　使　用　期　間

備考　この様式により難いときは，この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式２（Ｂ５判）

試　験　等　申　込　書

年　　月　　日

（あて先）　札幌市長

住　所

氏　名（法人にあってはその名称及び代表者氏名）　印

下記の試験を依頼したいので，料金　　　　　円を添えて申し込みます。

試　験　品　名	
試　験　目　的	
摘　　　　　要	

備考　この様式により難いときは，この様式に準じた別の様式を使用することができる。

様式３（Ｂ５判）

札幌市衛生研究所使用料（手数料）減免申請書

年　　月　　日

（あて先）札幌市長

住　所

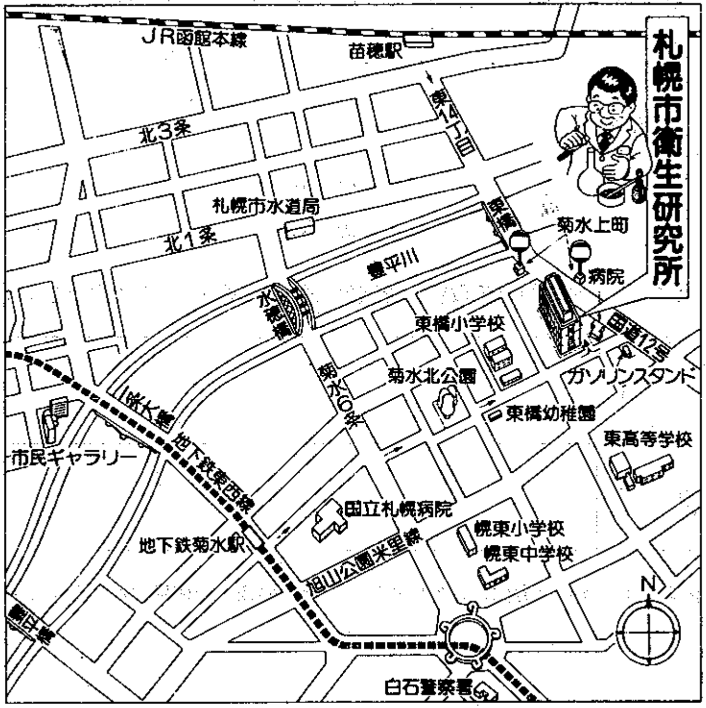
氏　名　　　　　　　　㊞

下記の事由により，使用料（手数料）を減免（免除）願いたいので申請します。

事　　　　由	
減　免　事　項	

備考　この様式により難いときは，この様式に準じた別の様式を使用することができる。

札幌市衛生研究所案内図



最寄駅

- 地下鉄〔**菊水駅**〕から徒歩15分
- 市バス・ＪＲバス〔**菊水上町**〕から徒歩３分
- ＪＲ〔**苗穂駅**〕から徒歩15分

年報編集委員

委員長	阿部　克己
委　員	成田　勉
	依田　豊章
	大森　茂
	福士　勝
	小塚　信一郎
	佐藤　稔
	大谷　倫子
	柏原　守

札幌市衛生研究所年報（第17号）
1990

印　刷　平成２年12月10日
発　行　平成２年12月10日

編集兼　〒003　札幌市白石区菊水９条１丁目
発　行　札幌市衛生研究所
電話（011）841－2341
FAX（011）841－7073

印　刷　㈱共同印刷
電話（011）241－9341